

関係者各位

Press Release
令和3年6月28日

2021年(第31回)福岡アジア文化賞

FUKUOKA PRIZE 2021

受賞者発表

アジアの学術研究や芸術・文化の分野で顕著な業績をあげた方を顕彰する
福岡アジア文化賞。

第31回目となる今年の受賞者は、この3名の方々に決定しました。



大賞 パラグミ・サイナート(64歳) PALAGUMMI Sainath

インド/ジャーナリスト

インドの「農民の物語」を伝え続ける気骨のジャーナリスト

- ・ 急激な変動を続けるインドで貧しい農村を調査
- ・ People's Archive of Rural India (デジタル・ジャーナリズムのプラットフォーム) を立ち上げ、農村社会の現実を多言語で発信
- ・ アジアのノーベル賞と言われるラモン・マグサイサイ賞を受賞
- ・ 輝かしい経歴にもかかわらず、丹念に農村を歩き、人々の話を聞いて情報を集め、カメラのシャッターを切り、貧困や災害の真相を描き出す
- ・ 昨今もパンデミックと貧窮の二重苦にあえぐ農村を取材し、世界に向けて助け合いを訴えている



学術研究賞 岸本 美緒(キシト ミオ) (69歳) KISHIMOTO Mio

日本/歴史学者

日本の歴史学界に大きな影響を与えてきた「灯台」的存在

- ・ 中国明清社会経済史を専門とする歴史学者
- ・ 中国社会への内在的な視線とグローバルな視野を兼ね備え、常に斬新かつ問題提起的な研究を行う
- ・ 研究テーマは清代の物産史、明清期の社会的階層・社会思想と多岐に渡り、社会で如何にして秩序が形成されるかを一貫して問いかけている
- ・ 教科書の編集・執筆なども行い、次世代への歴史教育に貢献



芸術・文化賞 プラープダー・ユン(47歳) Prabda YOON

タイ/作家、映画作家、アーティスト

タイで「プラープダー現象」とも呼べるブームとなったアーティスト

- ・ タイを代表する作家の一人で、タイ文学・思想の発展に寄与
- ・ 評論家、脚本家、エッセイスト、翻訳家、グラフィックデザイナー、イラストレーター等の顔も持つマルチクリエイター
- ・ 日本滞在経験があり、雑誌への寄稿を通して等身大の日本を紹介するなど、タイの日本観に新たな視座を与える
- ・ 作品は日本語はもとより多くの言語に翻訳され、世界の関心も高い
- ・ 近年ではアジアの一作家として哲学的思索を深めている

授賞式は9月29日(水)に開催し、初のオンライン配信を行う予定です(次頁参照)。
海外の受賞者の方は、各国からオンライン出席いただきます。

ASIAN PARTYとは…9月から10月にかけて集中的に開催されるアジアとクリエイティブ関連事業の総称です。

「アジアと創る」をコンセプトに、アジアのヒト、モノ、情報が集う社交場をイメージし、「アジアを知る」アジアマンスからリニューアルして9回目を迎えます。「福岡アジア文化賞」、「The Creators」のほか、民間企業・団体等と連携し様々なイベントを開催します。

2021年（第31回）福岡アジア文化賞 公式行事日程（予定）

令和3年6月28日時点

| 行 事 | 日 程 | 場 所 | 内 容 |
|-----------------------------------|----------------------------------|---------------------|---|
| 授賞式 | 9月29日(水) ※18:30~19:15 (予定) | ホテルオークラ 福岡（平安の間） | 授賞式典 ※海外受賞者はオンライン 出席 ※会場参加は関係者のみ ※ライブ配信あり（視聴は 事前申込制、国内外に 配信） |
| 市民フォー ラム (受賞者ごと に実施) | 9月30日(木) ～ 10月16日(土) | 福岡市内の会場 | 受賞者による市民を対象と した講演会等 ※海外受賞者はオンライン 出演 ※ライブ配信あり（視聴は 事前申込制、国内外に 配信） |
| 学校訪問 (受賞者ごと に実施) | ※日程、時間等 調整中 | 福岡市内の 中学校・高校・大学 | 受賞者が学校を訪問し、 生徒・学生と交流 ※海外受賞者はオンライン 出演 |

※各行事の詳細や視聴方法は7月下旬頃にお知らせします。

【問い合わせ先】 総務企画局国際部アジア連携課（福岡アジア文化賞委員会事務局）
担当：中野、山田 Tel：092-711-4930 Fax：092-735-4130
福岡アジア文化賞 URL <https://fukuoka-prize.org/>